

# 染織品と松浦屏風

Textile Works and Matsuura Byobu Screens

— 織物・染物・刺繍 いろいろどり —



左上 赤地格子連珠花文経錦(蜀江錦)(部分) 中国・隋～唐時代または日本・飛鳥時代  
左下 辻が花裂(部分) 日本・桃山時代  
右上 清水裂(部分) 中国・明時代  
右下 国宝 婦女遊楽図屏風(松浦屏風)(部分) 日本・江戸時代前期

2023

4/7(金) ~ 5/14(日)

- 休館日/毎週月曜日
- 開館時間/午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 入館料/一般 630円 高校・大学生 420円 小学・中学生 無料
- ※20名以上の団体は相当料金の2割引で引率者1名無料
- ※「障がい者手帳」をお持ちの方とご同伴者1名2割引
- アクセス/近鉄・奈良線(学園前駅)下車 徒歩約7分

## 大和文華館

THE MUSEUM YAMATO BUNKAKAN

— 奈良・学園前 —

〒631-0034 奈良市学園南1-11-6 TEL(0742)45-0544



# 染織品と松浦屏風

— 織物・染物・刺繍 いろとりどり —

糸を紡ぎ、布を織り、染め、縫う。こうしてできた染織品は、古くより人々の生活を豊かに彩ってきました。

日本では、飛鳥・奈良時代に中国の隋・唐時代頃の染織品の影響を受けて技術が発展し、中世から近世にかけては、中国の元・明時代頃の高級織物やインドの更紗などが盛んに輸入されて茶の湯の世界で珍重されるなど、世界の様々な地域と関わりながら、染織の技術や染織への美意識が磨かれてきました。

また、桃山から江戸時代には、経済の発展にともない染めや刺繍などの技術が発展し、様々な模様で飾られた衣装が生み出されました。この時期の風俗画には、流行の華やかな衣装が描かれており、その描写が見所の一つとなっています。

本展には、飛鳥・奈良時代の貴重な上代裂、祈りが込められた繡仏、茶の湯の世界で噂された名物裂、エキゾチックな趣きのインド・中東の布(久しぶりの展示!)、美しい衣装の描かれた日本の近世の風俗画などが並びます。多彩な染織の美をご堪能ください。



【重要文化財】刺繍五髻文殊菩薩像 日本・鎌倉時代



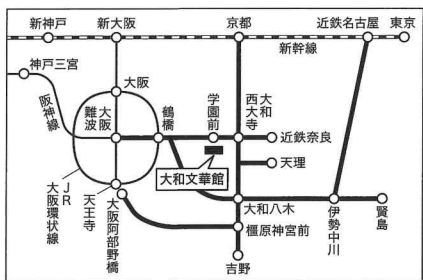
上代裂帖 中国・唐時代、日本・飛鳥～奈良時代

## Textile Works and Matsuura Byobu Screens

This display includes textile works from various regions, including Japan, China, India, and the Middle East, along with paintings depicting people wearing beautiful garments. Many of these works have not been displayed for a long time!



近鉄・奈良線(学園前駅)下車、南出口より  
徒歩約7分、無料駐車場あり



更紗敷物 インド・19〜20世紀



【重要美術品】美人図 宮川長春筆 日本・江戸時代中期

## 大和文華館

THE MUSEUM YAMATO BUNKAKAN

—— 奈良・学園前 ——

〒631-0034 奈良市学園南1-11-6

TEL (0742) 45-0544 FAX (0742) 49-2929



大和文華館  
ホームページ



@yamatobunkakan

- ◆特別講演 4月30日(日)午後2時・講堂  
「描かれた染織—(松浦屏風)から浮世絵まで」 東京国立博物館工芸室長 小山弓弦氏
- ◆日曜美術講座 5月14日(日)午後2時・講堂  
「こんなのあったの?大和文華館所蔵の染織作品」 当館学芸部課長 宮崎もも
- ◆列品解説 毎週土曜日 午後2時  
当館学芸部による ※新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、スライドによる展覧会解説となる場合があります。  
※新型コロナウイルスの感染拡大の状況によっては、人数制限をする場合があります。
- ◆無料招待デー 5月9日(火)